



Flash News

〈フラッシュニュース〉

三重大学

第33号

目次

- 平成18年の年頭にあたって～有言実行～
- 「再開発元年」
- APAN国際会議に参加
- 「現代GP招待講演会、学生活動発表会」開催
- 教職員向けのセクシュアル・ハラスメント防止講演会

お知らせ

- 調べ学習にピッタリ！公開講義で「パスファインダー入門講座」実施
- 附属養護学校でコンサート開催
- シンポジウム須賀利
- 研究科長並びに学部長選出
- ・総務部からー
- ・広報室からー

平成18年の年頭にあたって ～有言実行～



豊田長康学長

国立大学を取り巻く環境はますます厳しくなりつつあります。しかし、みんなで知恵を出し合い効率化の工夫をすれば、十分乗り越えることが可能であると思っています。法人化後、本学では「地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す。～人と自然の調和・共生の中で～」というミッションを掲げ、中期目標・中期計画の実現に向けて努力を続け、今年はその3年目を迎えることとなります。今後の大学認証評価を控えて平成18年は法人化の中期第一期目の「勝負の年」です。ミッションや目標は掲げておくだけでは何の意味もなく、それを「実行」して初めて意味を持ちます。平成18年は、組織全体が、現場のチームが、そして個人が、本学のミッションおよび中期目標・計画を「実行」の年とし、全学の各部署、各階層でPDCAサイクルを回すことを徹底することで、昨年度期首に申し上げた5つの「C」の、特に今年は「コミットメント（有言実行）」の風土づくりを強調したいと考えます。

「再開発元年」

現在の附属病院の建物は老朽化が進み、最近の医学・医療の実践と医療人の育成先進医療の開発などに支障を生じているばかりでなく、患者様、職員両方にとってのアメニティの悪さが指摘されてきました。平成13年度から検討されてきた再開発基本構想が文部科学省に認められ、平成18年度からの再編整備が決定しました。実際の建築は第1期が平成19～26年度の11階建て病棟、第2期が平成26～29年度の診療棟、第3期が平成29～35年度の外来棟と長丁場ですが、理想の医療が遂行できる快適な病院が完成するのではないかと期待されます。また、少しでも工期が短縮できるよう関係方面に働きかけます。「再開発元年」と位置づけられるように、ようやくスタートラインに立ったばかりですから、今後ますます職員一丸となつての協力が必要です。よろしくお願いいたします。

APAN国際会議に参加

1月22日-26日、東京の秋葉原コンベンションホールでAPAN(Asia Pacific Advanced Network)国際会議が開催され、亀岡理事（国際交流担当）をはじめ、本学APAN関連スタッフが参加しました。e-Cultureにおいては、人文学部の佐藤教授の発表や開催地の秋葉原現象「OTAKU」についての発表があるなど、興味深いものでした。また、Common Areaでは、国際交流センターの本田海外連携助教授と中川客員教授、生物資源学部の三島助手が発表され、セッション参加者から絶賛をあげました。

また、今回e-Cultureが正式なAPANのワーキンググループ（チェア：亀岡理事、コチェア：韓国、マレーシア）として承認されました。

「現代GP招待講演会、学生活動発表会」開催

現代GP「全学的な知的財産創出プログラムの展開」（代表：松岡 守教授・教育学部）による標記会が1月25日、三翠ホールで開催されました。計測自動制御学会中部支部との合同企画である招待講演会では、本学OBの山田耕嗣氏（トヨタ自動車）により、愛・地球博で人気を博したパートナーロボット開発者の一人としての苦労話が披露されました。学生活動発表会では、現代GP関連講義「創造性開発法」（担当：村松浩幸助教授・教育学部）における成果発表、並びに現代GPで今年度支援した学生ベンチャーの報告がありました。

教職員向けのセクシュアル・ハラスメント防止講演会

人文学部は、12月19日、信州大学イコール・パートナーシップ委員会委員長の金早雪（キム・チョソル）教授をお迎えして、教職員向けのセクシュアル・ハラスメント防止講演会を開催しました。金教授には信州大学の取り組みをもとに「大学におけるセクシュアル・ハラスメントの防止と対応」についてお話しいただきました。参加者からは具体的な話でたいへん参考になったとの感想が聞かれました。

調べ学習にピッタリ！公開講義で「パスファインダー入門講座」実施

附属図書館では、12月13日と1月17日に人文学部・佐藤教授の公開講義「情報メディアの活用」の中で「パスファインダー入門講座」を実施し、学生・津市学校図書館関係者36名が受講しました。パスファインダーとは、「観光」や「公害」など特定のテーマについて百科事典・図書・新聞・ネット上の情報などで自ら調べる道しるべとなるリーフレットのことで、調べ学習や課題解決型の学習をサポートするツールです。2回目は受講生が作成したパスファインダーの発表会を行い、学生からは「話を聞くだけでなく実践的に班別作業と発表ができてよかった。学校図書館の方と一緒に、現場の話が聞けて新鮮だった」、保護者ボランティアからは「大学の講義ということで難しいのかと思ったが、楽しくためになった」という感想が寄せられました。



附属養護学校でコンサート開催



1月16日、附属養護学校において、教育学部：兼重教授の教え子でウィーン在住のソプラノ歌手三谷結子氏を招いてミニコンサートを開催しました。日本の曲「さくらさくら」を初めとし、「ドレミの歌」などの他、ウィーンの美しい曲の調べが同校体育館に流れ、集まった小学部から高等部までの在学生とその父兄は素晴らしい歌声に聞き入り、最後のワルツ曲「ウィーンは夜が美しい」ではワルツのステップを踏み踊るなど、心身共に音楽を楽しみました。終了後、「とても上手だった！」「今度は、もっと違う歌を」などの感想と共に、子供たちからプレゼントが贈られ、短い時間でしたが楽しいひとときを過ごし、再演を約束されました。（左写真：三谷結子氏）

シンポジウム須賀利

1月20日、「シンポジウム 海村・須賀利に学ぶもの—地域総合調査ワークショップin須賀利から—」が三翠ホールで開催されました（担当：石原義剛客員教授）。尾鷲市・海の博物館との相互友好協力協定に基づいて行われた総合調査（漁業・防災・建築・歴史・食文化）をもとに、海村・須賀利の特色と地域づくり、地域との連携と教育・研究について、活発な意見交換がされ、有意義なひとときとなりました。会場では北出正之写真展「須賀利からのメッセージ」も同時開催され、須賀利の美しい景観に思いを馳せることができました。

研究科長並びに学部長選出

1月11日、それぞれの教授会において下記のとおり研究科長並びに学部長候補者の選出がありました。人文学部では、井口靖教授を学部長に再任。任期は、2006年4月1日より2年間。大学院医学系研究科では、駒田美弘教授を研究科長に選出。任期は、2006年2月10日～2008年3月31日。生物資源学部では、2006年度からの大学院部局化に伴い、天野秀臣教授を大学院生物資源学研究科長に選出。任期は、2006年4月1日より1年間。

お知らせ

総務部から—「学長サロン」へようこそ

学長と教職員とのコミュニケーションを緊密にするため、フランクに話し合える場として第三回「学長サロン」を企画しましたので、ふるってご参加ください。（*なお、ご参加いただける方は事前に総務課総務係（somusomu@ab.mie-u.ac.jp）までメールにてご連絡願います。）

- ・日時： 2月2日（木）17:30～19:00 場所： 生協 パセオ
- ・飲食物等： 缶ビール、ソフトドリンクは実費負担（おつまみ、ウーロン茶は学長提供）

広報室から—「三重大X」への著書情報提供について

おかげさまで2005年春より発行している地域向け情報誌「三重大X [えっくす]」は、この3月で一年を迎えることになり、日頃のご協力を厚くお礼申し上げます。さて、2006年春号より著書紹介コーナーを企画しています。下記の点にご留意の上、情報の提供をお願い致します。

- ・書籍の著者が本学在職の教職員（非常勤講師・非常勤職員等を含む）及び在学生であること
- ・著書の発行日が2005.9.1以降とすること
- ・附属図書館に献本のあること
- ・各学部広報委員の紹介文のあること
- ・教科書、論文は除外とすること

投稿のお願い

各種事項（大学教育・研究、地域連携、国際交流、学内事業等）に関するフレッシュなニュース提供をお待ちしています。

亀岡孝治（vpre-info@mie-u.ac.jp）または井上真理子（mariko-i@ab.mie-u.ac.jp）まで。場合によっては、取材に向きます。

《フラッシュニュースのバックナンバーは、三重大大学ホームページで（<http://www.mie-u.ac.jp>）ご覧いただけます。》 編集責任者 / 理事・副学長 渡邊悌爾